

## <香川県内の経済動向> (平成 29 年 4 月 17 日作成)

**現在の景気**：緩やかな回復を続けている。

**3 か月程度の見通し**：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

**個人消費**：一部に弱さもみられるものの基調的には持ち直している。

2月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 3.1%減と 3 カ月連続で減少。店調後は前年比 3.5%減と 3 カ月連続で減少。2月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前）0.2%減少。2月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）1.1%増と 2 カ月連続で増加、ドラッグストアが同 0.9%増と 2 カ月連続で増加、ホームセンターが同 2.6%減と 3 カ月ぶりに減少。2月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 13.5%増、小型乗用車で同 23.1%増、軽乗用車で同 6.0%と増加し、全体では前年比 12.2%増と 4 カ月連続で増加。

**住宅建築**：持ち直している。

2月の住宅着工戸数は、持家で前年比 15.3%減、貸家で同 17.9%減、分譲住宅で同 26.4%と減少し、全体では前年比 17.5%減と 4 カ月ぶりに減少。

**設備投資**：底堅く推移。

「全国企業短期経済観測調査結果（2017 年 3 月）-香川県-」における 2016 年度の設備投資は、全産業で前年度比 20.4%増加見込み。

**公共工事**：高水準で推移。

2月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比 227.0%増、県で同 94.9%増、市町で同 156.4%と増加し、全体では前年比 151.9%増と 3 カ月連続で増加。平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月の年度累計では前年比 14.8%増加。

**輸出**：底堅く推移。

2月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶で前年比 26.6%と増加し、全体では前年比 15.6%増と 2 カ月連続で増加。

**生産活動**：振れを伴いつつも緩やかな持ち直しの動きがみられる。

1月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 0.7%上昇し、104.3 と 2 カ月連続で上昇。原指数は、前年比 2.9%上昇し 97.3 と 2 カ月連続で上昇。化学・石油石炭製品工業（医薬品）、非鉄金属工業（電気銅、電気金）などで上昇。はん用・生産用機械工業（貯蔵槽、ころ軸受）、輸送機械工業（鋼船）などで低下。

**観光**：底堅く推移。

2月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 4.2%減と 2 カ月連続で減少。

**雇用情勢**：好調に推移。

2月の有効求人倍率（季調済）は、前月と同率の 1.66 倍。新規求人数（原数値）は、製造業、卸売業、小売業等で増加し、全体では前年比 3.6%増と 19 カ月連続で増加。

(トピックス)

○香川県は3月21日、2017年1月1日現在の県内地価(179地点)を公示した。前年から継続して調査した176地点の平均価格の対前年変動率はマイナス0.8%で26年連続の下落となった。ただ、下落幅は7年連続で縮小。前年価格を上回った地点が前年の6カ所から16カ所に増えたほか、横ばい地点も前年比4カ所増の32カ所となり、下げ止まり傾向が一層強まった結果となった。用途別の変動率は、住宅地、商業地とも前年より0.6ポイント改善し、住宅地がマイナス0.8%、商業地はマイナス0.9%。全用途平均は前年から0.7ポイント改善のマイナス0.8%となった。全国順位は住宅地28位(前年35位)、商業地26位(同29位)、全用途平均26位(同32位)といずれも上昇した。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					